雑益	1,319,467	—	1,319,467	785,608	2,105,075
資産見返負債戻入	3,313,671	18,504	3,332,175	566,468	3,898,644
小計	32,569,177	564,870	33,134,048	9,714,407	42,848,456
業務損益	△ 435,535	△ 54,489	△ 490,024	684,086	194,061
土地	—	—	—	139,425,286	139,425,286
建物	46,851,733	945,336	47,797,070	6,319,119	54,116,189
構築物	52,660	43,816	96,477	2,533,511	2,629,989
その他	21,447,162	18,280	21,465,443	18,796,986	40,262,430
帰属資産	68,351,556	1,007,434	69,358,990	167,074,904	236,433,894

（注１）　セグメントの区分方法は、「大学」、「附属高校」、「法人共通」の三区分です。

（注２）　業務費用のうち、各セグメントに配賦せず、法人共通で計上した費用の主な内訳は以下のとおりです。
人件費のうち、職員人件費　4,515,874千円、一般管理費のうち、「消費税」110,933千円

（注３）　業務収益のうち、各セグメントに配賦せず、法人共通で計上した収益の主な内訳は以下のとおりです。
「運営費交付金収益」のうち、3,078,269千円（人件費、特別教育研究経費及び特殊要因経費を除いた経費分）
財務収益のうち、「受取利息」15,213千円、「有価証券利息」42,354千円
また、学生納付金収益のうち、授業料収益は学内の使途特定内規により、資産購入にあてることとしているため、授業料収益がないセグメントの資産見返分を、授業料収益があるセグメントから按分し負担しています。

（注４）　注３で記載したとおり、運営費交付金収益は特別教育研究経費等の使途が特定された経費のものを除き、法人共通で計上しているためセグメント情報は業務費用の発生状況を見ることが主目的となっております。

（注５）　帰属資産のうち、各セグメントに配賦せず、法人共通で計上した資産の主な内訳は以下のとおりです。
「土地」139,425,286千円、その他のうち、「現金及び預金」7,977,955千円、「投資有価証券」3,955,205千円、「長期性預金」1,000,000千円、「有価証券」2,092,355千円

（注６）　目的積立金を取崩して発生した費用額、減価償却費、損益外減価償却相当額、損益外減損損失相当額、損益外利息費用相当額、損益外除売却差額相当額、引当外賞与増加見積額及び引当外退職給付増加見積額は以下のとおりです。

（単位：千円）

区分	大学	附属高校	小計	法人共通	合計
目的積立金取崩額	—	—	—	—	—
減価償却費	5,757,155	12,732	5,769,888	550,974	6,320,862
損益外減価償却相当額	3,201,858	71,464	3,273,323	651,000	3,924,323
損益外減損損失相当額	516,250	—	516,250	56,169	572,419
損益外利息費用相当額	—	—	—	—	—
損益外除売却差額相当額	0	—	0	880	880
引当外賞与増加見積額	△ 36,540	△ 1,597	△ 38,137	△ 56,139	△ 94,276
引当外退職給付増加見積額	△ 376,862	△ 12,844	△ 364,017	△ 2,917	△ 366,935

⑳　寄附金の明細

区分	当期受入額	件数	摘要
大学	2,732,704(千円)	4,957(件)	現物寄附1,821,191千円（4,367件）を含む。
附属高校	7,719(千円)	3(件)	現物寄附3,129千円（１件）を含む。
法人共通	473,968(千円)	1,073(件)	現物寄附2,815千円（６件）を含む。
合計	3,214,392(千円)	6,033(件)	

「東工大基金」

区分	当期受入額	件数	摘要
法人共通	439,581(千円)	1,054(件)	注
合計	439,581(千円)	1,054(件)	

注.　「当期受入額」及び「件数」は、寄附金の明細「当期受入額」及び「件数」に含まれております。なお、「東工大基金」より生じた利息は、「当期受入額」に含まれております。

第明治三十二種郵便物認可　三十五年三月三十一日